

# かじかわ

- か** かかわり、いい関係をつくる生徒
- じ** 自信のつく事実を積み上げる生徒
- か** かけがえのない自分、どう生きるかを問い続ける生徒
- わ** 分からなさを大事にし、分かるまで、考え追究する生徒

- し** 思考し学び合う生徒
- ば** 場と時を大切に作る生徒
- た** 大夢を抱く生徒

新発田市立加治川中学校 令和3年12月13日 第12号

## □ 重層（奏）的取組

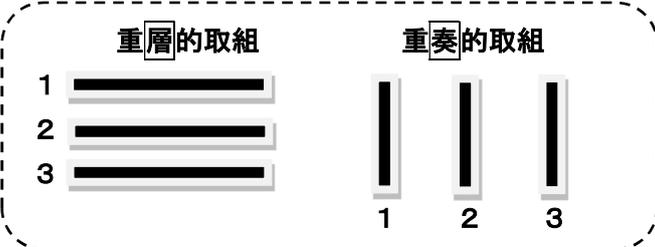
校長 星 渉

12月1日（水）の全校朝会で「重層（奏）的取組」について、次のように生徒に話しました。

何かに取り組んで成果を上げるには重層（奏）的な取組が大切です。重層<sup>し</sup>的取組は「時間経過に伴って重ねるよう行う取組」です。重奏<sup>か</sup>的取組は「同時に音楽を奏できるように行う取組」です。どちらも「じゅうそうてき」と読みますが、違いが理解できますか。右図を見ると分かりやすいと思います。次々に取り組む「重層的取組」、同時進行で取り組む「重奏的取組」の2つを合わせて「重層（奏）的取組」と記述しています。課題解決や目標達成には重層（奏）的取組が効果的です。以下の4つの具体的例を紹介します。

全校朝会 12月1日（水）

- 1 学びの姿 Good
- 2 重層（奏）的取組→課題解決・目標達成
- 3 いじめの起こりにくい集団とは



**1 インフルエンザ予防の重層（奏）的取組**

- 1 加湿
- 2 換気
- 3 三点固定（睡眠）
- 4 うがい、手洗い
- 5 マスク
- 6 人混みに行かない
- 7 栄養・休養

1つ目はインフルエンザ予防の重層（奏）的取組 **①** についてです。左表を見てください。3年生はこれから受検期を迎えます。1・2年生も含めてインフルエンザ予防が不可欠です。同時にコロナ対策にもなります。インフルエンザはウイルスによる飛沫感染であり接触感染です。一人が感染すると瞬く間に広がります。全校生徒一人一人がインフルエンザに罹らないよう7つのことを重層（奏）的取組として行いましょう。（中略）

2つ目のPTA共通課題「家庭学習の習慣化」も重層（奏）的取組 **②** です。（中略）

3つ目は「人権週間を中心とした取組」**③** についてです。11月25

**2 PTA共通課題「家庭学習の習慣化」**

- 1 1年70分、2年80分、3年90分
- 2 三点固定（起床、家庭学習開始、就寝の時間）
- 3 メディア接触60分以内
- 4 双方向通信は21時以降しない
- 5 親子コミュニケーション
- 6 生活ノート・自学ノートの活用
- 7 家庭学習プランニング・タイム

日に生徒会の企画・運営で行われたいじめ見逃しゼロ全校集会「LOVE & PEACE」や人権講演会等も重層（奏）的取組です。（中略）

4つ目の「LOVE & PEACE後の各委員会の取組」**④** も重層（奏）的な取組です。

**3 「人権週間」を中心とした取組**

- 1 LOVE & PEACE (11/25) ~いじめ見逃しゼロ全校集会~
- 2 人権講演会「命の授業」(12/3)
- 3 資料「生きる」を使った授業
- 4 各委員会の取組

**4 「LOVE & PEACE」後の各委員会の取組**

応援委員会：異学年レク	広報委員会：元気のでる音楽
図書委員会：読み聞かせ	さくら委員会：校内美化活動
生活委員会：球技大会の運営	1学年委員会：レク・声かけ
給食委員会：リクエスト給食	2学年委員会：今日の一言・レク
保健環境委員会：O×クイズ	3学年委員会：学年レク

## □ 生徒会役員選挙～新生徒会長、新副会長が決まる～

12月2日（木）

12月2日（木）に生徒会役員選挙がありました。新生徒会長は森谷知生さん、副会長は山田瑠唯さんと宮島梨華さんが信任されました。新生徒会役員の抱負を掲載します。

### 「生徒一人一人の意見を伝えあい、尊重する生徒会」

新生徒会長 森谷 知生さん

私は今回の生徒会選挙で新生徒会長になりました。私の抱負は「生徒一人一人の意見を伝え合い尊重する生徒会」です。今の加治川中学校には話を聴き合うというよい文化があります。これを日々の授業や生徒会の行事にも広げていきたいと思っています。私は人の話を聴くことでその人を尊重したいと思っています。その話をしやすくするために次の2つを行います。1つ目はタブレット端末の活用です。これだと人前に出ずとも話すことができます。2つ目は同学年、異学年の交流の充実です。相手を知れば話しやすくなると思います。今の加治川中学校はこの良い流れができつつあります。共に頑張っていきましょう

### 「上下関係なく過ごせる学校」

新生徒会副会長 山田 瑠唯さん

私は新生徒会副会長になりました。抱負は「上下関係なく過ごせる学校」にすることです。「上下関係なく」という意味は「先輩は後輩を大事にして行動の範を示し、後輩は先輩を尊敬し頼りにして、何でも思ったことを相談したり言えたりする関係」です。異学年との仲を深めることにより、生徒会員全員がまとまると考えています。そのために行うことはレクリエーションなどの異学年との交流の場を設けることです。その他にも今年行った「目安箱」をより良くしたいと思います。今年の総務としての経験から改善していけると思うものは積極的に改善していきたいです。副会長として会長のサポートをし加治川中のために精一杯頑張っていきたいです。

### 「お互いがお互いのために行動できる生徒会」

新生徒会副会長 宮島 梨華さん

私は今回の生徒会選挙で新副会長になりました。抱負は「お互いがお互いのために行動できる生徒会」にすることです。全校生徒のみなさんの積極性を生かし、創意工夫のある意見が出しやすい活動を行います。私は今年の生徒会が創り上げた雰囲気や流れを大切にして、異学年との交流を増やします。公約を実現させるには、一人一人の考えを幅広く共有する必要があります。また、今年度に引き続き目安箱の設置も考慮しますが、たくさんの方の意見を取り入れた新しい目安箱にしたいと思っています。このような活動を通して加治川中学校をさらによい方向に導くことができるように、会長のサポートを欠かさず頑張っていきたいです。

□「LOVE & PEACE」～いじめ見逃しゼロ生徒集会～11月25日（木）  
～「さらに仲よく過ごしやすい加治川中学校にするために」～

11月25日（木）の6限に、いじめ見逃しゼロ生徒集会「LOVE & PEACE」がありました。「さらに仲よく過ごしやすい加治川中学校にするために」をテーマに専門委員会別の異学年交流グループを編成し、共有ツール「えんたくん」を囲んで考えました。生徒会総務の企画運営により右の流れにしたがって全校生徒で話し合いました。今後、各委員会でも独自の取組を行うことになっています。

## 「LOVE & PEACE」の流れ

- 1 生徒会長の話
- 2 生徒会による「個性についての劇」
- 3 アイスブレイク
- 4 代表学年委員によるクラスのKeep&Problem発表
- 5 1・2年生の各クラスへアドバイス・意見交換
- 6 アドバイスシートに書く（アドバイスや応援メッセージ）
- 7 各班のアクションシート【行動宣言】の作成
- 8 各班の発表
- 9 代表生徒からの話
- 10 校長先生の話

生徒会の「個性についての劇」

アイスブレイク

各クラスの Keep&Problem 発表

アドバイスシートに記入

各自の行動宣言案を付箋に記入

### ◎いじめ防止のポイント

- 1 自分との違いや個性を尊重できるか。
- 2 相手の落ち度や至らなさはいじめの理由にはならないことを学級や学年、全校の共通認識にできるか。
- 3 いじめをしない許さない雰囲気をもみんなで醸成できるか。

各班の行動宣言の作成

各班の行動宣言の発表

※ 「行動宣言」16班分は校舎の1階に掲示してあります。

『さらに仲よく過ごしやすい加治川中に』

## □ 人権講演会「私と部落問題～関係ないよじゃないよ～」

12月3日（金）

12月3日（金）に隣保館の高橋加代子様からお越しいただき人権講演会「命の授業」を開催しました。高橋様は「私と部落差別～関係ないよじゃないよ」というテーマでご自身の体験に基づき心に響く深いお話をしていただきました。生徒は集中して聴き、真剣に振り返りを記述していました。自分事として深く考えた振り返りが多くありました。3名の生徒の振り返りを紹介します。

私は部落問題について何度か話を聞いたことがありましたが、高橋さんの話を聞いて部落差別が身近にあると感じました。仕事場で親しいAさんが自分の休んだ日に自分の住んでいるところを話し、口を利かなくなったことや、教えてもないのに家の確認に行ったことにとっても驚き印象に残りました。また、友だちの家に行って自分の名前と住んでいるところを言うだけで「帰れ」と言われるのはとても良くない差別だと感じました。住んでいるところや親の職業で差別されるのは本当におかしいことだと思います。意味の分からないおかしい理由で差別はしてはいけないと思いました。差別されている人がいたら、「関係ないよ」ではなく、一緒に寄り添って考えたいと思います。  
**（1年生 宇野結香さん）**

私は今まで部落差別について勉強したことはありましたが、正直、理解しきれない部分や「本当にこんな差別があるのだろうか？」と思っていました。でも高橋様のお話を拝聴し、部落差別の経験や実態が分かりました。ある部落で生まれただけ、住んでいるだけなのに、差別されてしまう。そんなおかしい世の中、あり得ないと思います。自分で選んで生まれたわけでもない幼い子どもまで無条件で差別される世の中を私たち若者が変えていくべきです。そしてこれからの人生、多くの人に出会う中で差別されてしまっている部落の人と出会って打ち明けられるかもしれません。そんなとき、「関係ないよ」じゃなく一緒に考え寄り添える人間になりたいです。差別に苦しむ人がいる以上、その差別をなくすために全力を尽くします。（略）差別が起こらないように自分にできることをやって世の中を変えていきたいです。  
**（2年生 渡邊心陽さん）**



私は今まで、部落差別について教科書から学んだ程度の知識しかもっていませんでした。高橋様が「温かく迎え入れてもらっているのに、嫌な感情をもってしまったり、疑ってしまったりする自分がいた。頭では分かっているのに・・・。」とお話されました。とてもリアルで自分事として捉えることができました。頭では分かっているし、抗議運動にも参加し、身近なところにいたとしても、やはり経験しないと、当事者ではない人が、心の底から分かることは難しいのだと思いました。私はそういった差別を実際に経験したことはないけれど、高橋様のご自身の感情をリアルに私たちに伝えてくださったことで、本当に印象に残りました。私は将来、部落差別だけでなく、障害者差別やLGBTQ+の差別、人種差別などをなくしたいと考えています。高橋様のおっしゃっていた寄り添うを大切にしていって行きたいです。  
**（3年生 川村 空さん）**



2021/12/03 13:45